

申請者の氏名（又は名称）：

収容率及び人数制限の緩和を適用する場合の条件 チェックリスト

観客に大声での歓声・声援等がないことを前提としうる場合（詳細は裏面参照）、**国が示した感染防止策の徹底等を前提**に100%以内の収容が可能となります。

この場合、イベントの主催者は、下記の感染防止策の徹底を図るとともに、このチェックリストを事前に当館に提出して、十分に確認・協議を行ってください。

（1）徹底した感染防止等（収容率等を緩和する場合の前提）

チェック	項目	ポイント
	①適切なマスク着用の徹底	<ul style="list-style-type: none"> マスク着用状況を確認し、個別に注意等を行い、マスクの常時着用を求める ※マスクを持参していない者がいた場合は主催者側で配布・販売を行い、マスク100%を担保
	②大声を出さないことの担保	<ul style="list-style-type: none"> 大声を出す者がいた場合、個別に注意等を行う ※隣席の者との日常会話程度は可（マスクの着用が前提） ※演者が歌唱等を行う場合、舞台から観客まで一定の距離を確保（最低2m）

（2）基本的な感染防止等

チェック	項目	ポイント
	③①～②の奨励	<ul style="list-style-type: none"> マスク着用状況が確認でき、着用していない場合は個別に注意等を行うこと 大声を出す者がいた場合等、個別に注意等を行うこと
	④手洗の徹底	<ul style="list-style-type: none"> こまめな手洗の徹底を促す
	⑤消毒	<ul style="list-style-type: none"> 主催者側による施設内のこまめな消毒、消毒液の設置（ホワイエ・トイレ等）及び手指消毒を促すこと
	⑥換気	<ul style="list-style-type: none"> こまめな換気 ※特に、寒冷な場面における換気等に注意すること
	⑦密集の回避	<ul style="list-style-type: none"> 入退場時の密集回避（座席指定、時間差入退場等）、待合場所等の密集回避 ※必要に応じ、人員の配置、導線の確保等の体制を構築するとともに、入場口・トイレ等の密集が回避できない場合はそのキャパシティに応じ、収容人数を制限
	⑧身体的距離の確保	<ul style="list-style-type: none"> 演者が発声する場合には、舞台から観客の間隔を2m確保 混雑時の身体的距離を確保した誘導、密にならない程度の間隔（最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔）

	⑨ 飲食の制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限 ・ 休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底
	⑩ 参加者の制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入場時の検温、入場を断った際の払い戻し措置 ※ただし、発熱者・有症状者の入場を断る等のルールをイベント開催前に明確に規定し、当該規定を十分周知している場合は払い戻し不要
	⑪ 参加者の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握 ・ 接触確認アプリ（COCOA）やLINEによる「新潟県新型コロナウイルスお知らせシステム」の奨励
	⑫ 演者等の行動管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有症状者は出演・練習を控える。体調が悪いときは医療機関等に適切に相談 ・ 演者等と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じること ・ 合唱等、声を発出する演者間での感染リスクへの対処（練習時や催物開催前も含む）
	⑬ 催物前後の行動管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント前後の感染防止の注意喚起
	⑭ ガイドライン遵守の旨の公表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主催者及び施設管理者が、「新潟市江南区文化会館音楽演劇ホール利用者（事業主催者）向けガイドライン」に従った取組みを行う旨、ホームページ等で公表

（３）イベント開催の共通の前提

チェック	項目	ポイント
	⑬ 地域の感染状況に応じた対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国的な移動を伴うイベントは、事前に収容率制限等も含めて都道府県と相談 ・ 地域の感染状況の変化があった場合は柔軟に対応

【参考】

各種イベントにおける大声での歓声・声援等がないことを前提としうる／想定されるものの例

大声での歓声・声援等がないことを前提としうるものの例	大声での歓声・声援等が想定されるものの例
【音楽】 クラシック音楽（交響曲、管弦楽曲、協奏曲、室内楽曲、器楽曲、声楽曲等）、歌劇、楽劇、合唱、ジャズ、吹奏楽、民族音楽、歌謡曲等のコンサート	【音楽】 ロックコンサート、ポップコンサート 等
【演劇等】 現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、読み聞かせ、手話パフォーマンス 等	【スポーツイベント】 サッカー、野球、大相撲 等
【舞踊】 バレエ、現代舞踊、民族舞踊 等	【公営競技】 競馬、競輪、競艇、オートレース
【伝統芸能】 雅楽、能楽、文楽・人形浄瑠璃、歌舞伎、組踊、邦舞 等	【公演】 キャラクターショー、親子会公演 等
【芸能・演芸】 講談、落語、浪曲、漫談、漫才、奇術 等	【ライブハウス・ナイトクラブ】 ライブハウス・ナイトクラブにおける各種イベント
【公演・式典】 各種講演会、説明会、ワークショップ、各種教室、行政主催イベント、タウンミーティング、入学式・卒業式、成人式、入社式 等	
【展示会】 各種展示会、商談会、各種ショー	

・上記は例示であり、実際のイベントが上のいずれかに該当するかについては、大声での歓声・声援等が想定されるか否かを個別具体的に判断する必要がある